



## 令和3年度加茂中学校の教育

「Society5.0」時代、  
「予測困難な時代」に  
おける「令和の日本型  
学校教育」の構築

- 国・新潟県・加茂市が目指す子ども像  
加茂市・新潟県・日本を愛し、主体性と協働性、実践力を身に付け、市・県・日本や世界をリードする人材の育成  
○社会をたくましく生き抜き抜く力、未来を切り拓く力の育成  
○郷土を愛し、郷土を担う人材育成 ○豊かな心で、たくましく実践する子ども



### 【加茂中学校教育目標】

明るく たくましい 実践力のある生徒

#### 【重点目標】

- 主体的・協働的に課題を解決していく力の育成
- 自分の意見や考えを伝え合い、深めていくコミュニケーション能力の育成

#### 【長所を伸ばす】

- 生徒 「明るい」、「素直」。「一生懸命」、「主体性」が育ってきている。
- 伝統の生徒会活動
- 「加茂中愛(愛校心)」「加茂中・加茂が好き」な生徒
- 「加茂中・加茂中生に期待する」協力的な地域
- 前向きで、丁寧な教育

#### 【方向性】

#### 【課題解決を目指す】

- 「よりたくましい」、「より実践力」を備えた生徒の育成
- 自分で自分たちで、課題を解決していく力の育成
- 発表力、情報伝達力などコミュニケーション能力の育成
- 自ら課題を解決する場面、培った力を実践する場面を意図的に設定

#### 【今求められている教育課程を実現する】

- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、外部資源をより活用する。
- 教育課程をより外部に開き、学校はもとより、社会全体で加茂中生を育てていきたい。

#### 【教育目標の達成・課題の解決に向けて】

- 1 同じ方向性 全教職員、全校生徒が、加茂中学校教育目標や方向性を意識し、同じ方向に向かう。
- 2 各指導部の実践 各指導部が、教育目標や方向性に基づき、指導計画を立案、実践、連携する。
- 3 教職員の姿勢 「明るく、前向きに、丁寧に」、前向きで温かい丁寧な教育を実践・継続する。

### 5つの柱

- 1 授業 学校・学習の大黒柱。プロとして生徒を伸ばす。
- 2 学級 認め合う温かい学級。生徒とともに。「普段と違う」に気づく学級、学年、教科担任。
- 3 生徒会 自主性・実践力を伸ばす。「教師作成 生徒実行」→「生徒作成・実行 教師支援」
- 4 部活動 ガイドラインの確実な実施。ルールとマナーを徹底する。楽しい。メリハリ。
- 5 家庭・地域との連携 学校と家庭・地域は共同体。【創立74周年伝統校への思い・期待】

- 研修 「教師は伸ばしてなんぼ、伸びてなんぼ」
- 時間 「時間を守る」意識が徹底している学校・学年・学級・部活等は、多少のことでは崩れない「始まり」と「終わり」(教師が守る)

自由ながらに規律あり  
私欲なければ平らかに

「一生懸命に挑戦し、自分の、自分たちの力と可能性を伸ばし、たくましく生き抜いていく生徒」を育成したい。生徒、職員ともに、新たな気持ちで臨み、前向きに挑戦を続け、生徒一人一人の可能性を引き出して伸ばすことにより、そして、学校全体がひとつの方向に向かうことにより、加茂中学校をさらに前進させていきたい。「加茂中学校の生徒でよかった」、「加茂中学校に入学させてよかった」、「加茂中学校の教職員でよかった」と思える、生徒も教職員も伸びる学校、温かさや力強さのある学校を目指したい。

○明るく 前向きに 丁寧に